

## 令和5年度第8回合同教育研究会議議事概要

### 1 開催日時

令和5年12月13日 13時00分～14時30分

### 2 場所

本部棟3階 特別会議室

### 3 出席者

鈴木学長兼副学長事務取扱、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長兼高等教育推進センター長職務代理者兼教学IRセンター長職務代理者、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、長坂生活科学科長、伊藤国際文化学科長、松田宮古短期大学部長、長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web参加）、宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）

#### [事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長、長谷川宮古事務局長、伊藤主任主査

### 4 会議の概要

#### 議事録確認

前回会議11月8日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

#### 審議事項

令和4年度実績及び第三期期間実績の評価結果を踏まえた令和5年度計画の変更について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、セクシュアルハラスメントや性暴力の防止に向けた取組について、国立大学に対しては文部科学省による実態調が既に行われて対策が指示されており、公立大学に対しても今後同様の対応が見込まれるものであるとの発言があった。

これに関し、委員から、文部科学省からこのような指示が強く出されているのは、セクシュアルハラスメントのみならず若者の性暴力の深刻化が背景にあること、若者の性暴力は、性別に関わらず知識が不足していることが問題の根底にあることから、懲戒基準の制定だけでなく、啓発を行っていくことが非常に重要であるとの発言があった。

審議の結果、性暴力の防止に向けた啓発活動は、現行の令和5年度計画 No.24 の3の中で取組を進めることとされ、計画の変更については原案のとおり承認された。

#### 協議事項

ダイバーシティ&インクルージョン推進基本指針（骨子案）について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、ダイバーシティ推進室の構成員に関し、県の審議会などでは構成員の男女比が意識されており、海外ではクォーター制なども導入されていることから、本学においても構成員の男女比を検討してほしいとの発言があった。

委員から、様々な多様性を包括する体制となっており、他の機関ではあまり見られない良い体制であること、運営に当たっては、縦割りではなく、課題を全体で共有し意見を出し合いながら進めてほしいとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり承認された。

## 報告事項（口頭報告）

### （1） 高等教育推進センターの組織改編について

猪股高等教育推進センター長職務代理者から、資料に基づき説明があった。

委員から、部長の格付けが学科長と同等となる場合、教授の職位にある者しか就くことができず、センター長1人と部長2人の計3人の教授が管理職となるが、人数の少ない組織では教授の人数が限られることから、同じ者が管理職を務め続けなければならないことが懸念されるため、格付けを検討したほうがよいとの発言があった。

これに対し、新沼事務局次長兼総務室長から、規定を確認した上で対応するとの発言があった。

### （2） 学部長等の選考手続について

宮野副学長から、資料に基づき説明があった。

### （3） 国際交流協定の更新について（オハイオ大学、朝陽科技大学情報科学研究科）

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、朝陽科技大学情報科学研究科との交流について、今後は学生の受入れだけでなく派遣も進められるとよいとの発言があった。

### （4） 令和5年度学位授与式等及び令和6年度入学式の開催方法について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

### （5） 令和6年度からの奨学金制度の改正について

三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、資料に基づき説明があった。

### （6） 令和5年度岩手県立大学の就職内定状況（11月末現在）について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

### （7） 令和6年度地域協働研究の公募について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

### （8） 令和5年度業務実績の自己点検・評価の実施及び令和6年度計画の策定について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

### （9） 子育て支援等に関するニーズ調査の実施について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

(10) 公立大学教職員研修システムの活用について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

学長から、この研修システムで取り上げてほしいテーマがあれば提案してほしいとの発言があった。

**報告事項（資料報告）**

- (1) 令和5年度第3回学務調整会議の開催概要について
- (2) 学校推薦型・社会人選抜結果について
- (3) 令和5年度高大連携ウィンターセッションについて
- (4) 令和5年度岩手県立大学地域懇談会の開催結果について
- (5) 令和5年度 Illumination Project with U 及び夢灯りの取組みについて（報告）
- (6) 令和5年度公的研究費の不正防止対策の実施状況について

**その他**

委員から、政府の科学技術・イノベーションや知的財産戦略を推進している事務局の責任者との意見交換の場に参加する予定であること、話題としてはAI戦略、海外大学との連携、スタートアップ支援、国際標準化等の戦略についてが挙げられるが、岩手県立大学として、または公立大学として意見したいことがあれば意見交換の場で伝えるので申し出てほしいとの発言があった。